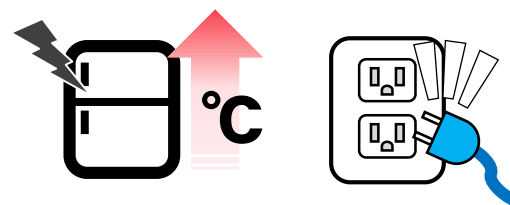


ワクチン保管の留意点①

温度逸脱によるワクチン廃棄事例が多く確認されている。ワクチンの温度管理を行う冷凍庫または冷蔵庫の設置環境についていま一度、十分な点検を行うこと。

主な原因

- 電源喪失、電力不足などによる庫内の温度上昇
- 冷凍庫、冷蔵庫、非常用電源設備等の不具合や不適切な使用
- 電源プラグの緩みや脱落による電源喪失



対応策

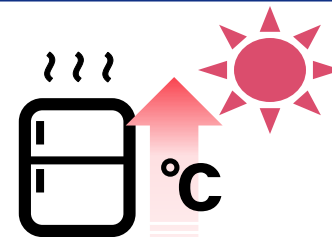
- 専用ブレーカーを使用し、分岐ソケット、延長コードは使わない。適切と思われる場合でも、電圧降下が起きていないか確認。
- 非常用電源設備を使用している場合でも、冷凍庫の運転電力を十分に満たしているか確認。
- 冷蔵庫での保管中はワクチン以外の物をいっしょに保管しない。
- 家庭用冷蔵庫などでは、霜取りのために一時的に庫内温度が上昇し、2～8℃の管理温度を超える場合があることから、使用を避けること。
- 電源プラグの緩みや脱落防止のため、プラグの状態を定期的を確認し、ワクチン保管部屋の入室管理や電源コードと職員の動線を干渉させないなど設置環境の改善。

ワクチン保管の留意点②

また、夏季に向け、外気温上昇、天災による停電などリスクも高まることから、万が一の事態に備えられたい。

夏季に向けて

- 冷凍庫を設置する**部屋が高温多湿にならないよう**使用環境の逸脱にも留意。
- 機器の周囲に壁などから**15cm以上の間隔**を設ける。
- 熱を発する物・機器の近くに冷凍庫を置かない。



万が一に備えて

- 万が一の庫内温度の上昇を想定して、**定期的に温度確認を行い、早期発見に努める。**
- 温度逸脱があった場合、発見時の温度から**適した管理温度へとワクチンを速やかに退避する**など、平常時から対応手順を検討する。
- **蓄冷剤・保冷剤の導入**による冷凍庫、冷蔵庫内の温度上昇の緩和。

※令和3年4月9日付け事務連絡「冷凍庫（-20℃）の先行配付について」別紙1及び別紙2を参照

※蓄冷剤や保冷剤を活用する場合は、ワクチンを保管する前にあらかじめ冷却すること。